



民主党

民主党川崎市議会議員団 だより

Statesmen need knowledge more than courage

三宅隆介市議は、平成21年川崎市議会・決算審査特別委員会において質問にたちました。以下、三宅隆介市議の教育長に対する質疑内容を要約してご紹介いたします。

三宅隆介市議、戦後教育の問題点を指摘!

わが国では、15歳から34歳の非労働人口のうち、通学、家事を行っていない人を「ニート」と呼び、また、自宅に6ヶ月以上ひきこもり、会社や学校に行かず家族以外との親密な大人関係のできない状態にある人を「ひきこもり」と呼んでいます。総務省統計局によれば、ニートは全国に約64万人いるとされており、岡山大学の疫学調査によれば、ひきこもりは全国の32万世帯に該当する人がいるとされています。

ニート・ひきこもりは、「叱るより誉めろ」「先生と生徒は対等」「子供の権利が大切」「個性重視」「体罰は悪」「校長は悪」などを正義とした戦後教育の所産である、と考えます。このまま戦後教育を放置すれば、こうしたニート・ひきこもりが増えていくばかりです。むしろ、ニート・ひきこもりは戦後教育の歪の一例にすぎません。本来、もっと強く逞しい人間(正しい知識・強い感情・安定した意志を備えた人間)に育てられるべき多くの子供たちが、戦後教育によってその可能性を奪われています。その点において、ニート・ひきこもりのみならず彼らもまた戦後教育の被害者です。

こうした観点から、いつものとおり戦後教育の根本的な問題点と矛盾点を指摘しました。

教育は性善説に基づいて行うべき

三宅隆介市議 現在の教育行政は、性善説に基づいて教えているのか、性悪説に基づいて教えているのか？

教育長 凶悪事件の報道があったときなどは、性悪説を支持したいという衝動にかられるが、教育現場においては性善説の立場にたって教育すべきものと考えます。

RYUSUKE's POINT

おそらく教育長は、「性善説」と「性悪説」の本来の意味をわかっていないであろう、と推察しながら質問しました。性善説とは本能が善であり、性悪説とは本能が悪である、ということです。本能の定義は「進化の過程で獲得した行動のプログラム」です。本能は約40億年の試練に耐えて、その進化の過程で出来上がったものです。もし本能が悪であったなら、とっくの昔に私ども人類は滅亡しています。従って、性善説に基づくのは当然のことです。しかしながら、現在の教育行政は性悪説によって行われています。教育長は、性善説や性悪説の意味がまったく理解できていないため、そのことに気づいていません。因みに、性善説は科学ですが、性悪説は哲学であり思想です。また、本能が善であるからこそ、「誉めるより叱れ」「体罰は善」となります。この説明は改めて。

教育の到達点こそ真理なり

三宅隆介市議 教育上、「真理」というものをどのように定義しているのか？

教育長 教育において特別な定義を行っていません。

RYUSUKE's POINT

誠に信じがたい答弁です。真理とは、教育の到達点です。具体的には、正しく強く安定した理性のこと。それを構築することが教育の到達点であり目標です。子供たちに到達点を示すことができず、いったい何を教育しているのでしょうか。人間の行動は、基本的に理性によって行われます。これは脳生理学からいっても間違いありません。従って、正しく行動する人間を創るには、正しい理性をつくってあげなければならないのです。詰まるところ、現在の教育行政では「真理」を定義することはできないようです。

人間は創造主によって創られたのか？

三宅隆介市議 英語教育において「私は日本に生まれた」を英訳するとどのようになるのか？

教育長 「I was born in Japan.」と英訳されるのではないかと存じます。



三宅隆介プロフィール

昭和46年3月23日生まれ。大東文化大学文学部 卒業。
ユアサ商事株式会社を経て、松沢成文衆議院議員(現神奈川県知事)秘書。
平成15年4月 川崎市議会議員 初当選、平成19年4月2期目当選。
川崎市多摩区中野島在住。
趣味：読書(歴史研究)、茶道(表千家)、野球。
尊敬する歴史人物：織田信長、コリウス・カエサル。

RYUSUKE's POINT

唐突な質問ですが、たいへん重要なポイントです。本来であれば「I born in Japan.」(私は日本に生まれた。)で良いはずですが、なぜ「was」というbe動詞が入るのか。それは、この言葉の後に「by the Creator」という言葉が隠れているからです。Creatorとは、創造主(神)のことです。つまり、「人間は創造主(神)によってこの世に生を受けた」ということであり、神によって創られたからこそ、生まれながらにして正しい理性や良心が授けられている、となります。このことは、日本の教育が創造論(性悪説)によって教えられている証拠です。つまり、本能は悪であるけれども、生まれながらにして正しい理性や良心を授けられている、ということ。「子供の権利が大事」「叱るより誉めろ」「子供の自主性を尊重しろ」などの誤った教育思想はここから発生しています。もし、生まれながらにして正しい理性や良心が授けられているなら、そもそも教育など必要ありません。教育長は、「by the Creator」ではなく、「by the mother」である、と考えているようですが、それは明らかにおかしい。なぜなら、もしmotherであれば、アメリカ独立宣言との整合性がとれなくなってしまいます。アメリカ独立宣言には「人間は創造主によって創られた」と明確に書かれています。

小学校は小人の為の学校である

三宅隆介市議 天下の教育長にこのような質問をして大変に失礼だが、そもそも「小学校」のことをなぜ「小学校」というのかご存知か？

教育長 そういうことについて、そんなに造詣が深いわけではありませんが、小中高という、いわば年齢の段階に基づいて名づけているのではないかと考えます。

RYUSUKE's POINT

四書五経の『大学』『中庸』『論語』『孟子』があります。その中のひとつ『大学』は、大人が学ぶための学問のことです。また『大学』に対して、『小学』というものがああります。これは小人が学ぶための学問です。『大学』と『小学』のちがいは、決して年齢的なすみわけではありません。小学校はこの『小学』からきています。つまり小学生は小人です。小人であるからこそ、知育、体育、徳育といった教育が必要なのです。子供は、生まれながらにして理性と良心を授けられている存在ではありません。

進歩のメカニズムは、恥→怒り→行動→進歩

三宅隆介市議 教育において「進歩」をどのように定義するのか？また、「進歩」のメカニズムをお示しください。

教育長 進歩についてはいろいろな定義の仕方がありますが、持てる力を十分に発揮しながら、様々な状況に的確に対応し、異なる個性をもつ様々な人々と力を合わせて、自らの将来と人間社会の未来を切り開いていける能力を身につけていくこと、です。

進歩のメカニズムについては、私には、子供たちの進歩、成長を約束する自動的なメカニズムをお示しすることはできませんが、子供たちの成長を促すためには、様々な形での環境づくりや支援が必要である、と考えます。

RYUSUKE'S POINT

現在の教育行政の悪しき特徴は、言葉の定義がまったくできていないことです。例えば時々「教育は愛である」などという虚しい思想がでてくるのもこのためです。

教育が愛であるなら、教育とは何か、愛とは何かをそれぞれ明確に定義できなければなりません。定義できないまま、「教育は愛である」を認めてしまえば、「犬は魚である」という論理もまかり通ってしまいます。私に言わせれば、いまの教育行政ではそれがまかり通っています。多くの人々が、犬は魚でないことを知っています。それは犬と魚の定義が明確だからです。定義できない言葉で理論をつくるのが、いかに危険であるかお解かり頂けるものと思います。

進歩の定義は、正しい理性を創ることです。そのメカニズムは、『小学』にもありますように、安詳恭敬です。安詳恭敬とは、簡単にいうと、子供というものは恥をかくことによって進歩しようとする意志をもち、そして強い感情によって行動する。結果、進歩する。子供のうちにこの安詳恭敬をくりかえすことが教育である、と『小学』は言っています。これこそまさに時代を超えても国を超えても決して変わることはない普遍の法則であり、真理です。

32万世帯にも及ぶひきこもり件数、あるいは64万人にも及ぶニートと言われる人たちも、この安詳恭敬を繰り返す教育を受けていれば、ニート・ひきこもりにならずに済んだことでしょう。

悪は理性の中にある

三宅隆介市議 過日の教育長の答弁によれば、「体罰は悪である」ということであるが、教育上、子どもに罰を与えることは必要であると考えられるのか？その場合、罰をどのように定義するのか？また、善悪をどのように定義するのか？

教育長 罰という言葉の定義は、法令や決まり事、道徳等に違反した者に対して、公もしくは集団が行う制裁行為などの意味で使用しております。学校教育における懲戒は必ずしも制裁を果たすためのものではないので、異なるものと考えます。

善悪の定義については、私は言語学者でも辞書編纂者でもございませんので、正確な定義を行うことができません。

RYUSUKE'S POINT

罰の定義は意味不明です。善悪を定義できないことには、啞然とするしかありません。

まず、教育における罰の定義は、子供の進歩を目的とした懲戒です。指導者には懲戒権が必要です。例えば、父親の「父」という文字は「斧」という文字の省略形です。斧は懲戒のための道具だからです。また、王様の「王」という文字も「鉞」の象形文字です。鉞もまた懲戒のための道具です。つまり指導者とは懲戒権を行使することができて、はじめて指導者となります。会社組織でも同じです。

善の定義は、本能の目的に合うことです。悪とは、善に反することです。繰り返しになりますが、本能は正しい、それが性善説です。もし本能が間違っていたら、既に人類は絶滅しています。

本能の目的に従えば善であり、反すれば悪です。正しい理性を創るというのは、本能の目的に適った理性を創ることです。それが進歩であり、教育の目的です。人間は理性を創るとき、おうおうにして自分に都合よく創ってしまいます。これが悪です。悪は理性の中にしかありません。

体罰の定義は「子供の進歩を目的とした有形力の行使」です。子供の進歩を目的としない有形力の行使は「暴力」です。むろん、それは体罰ではありません。体罰は一人の子供に行うと、その他大勢の子供たちにも効果がありますが、暴力は誰一人として子供の利益につながりません。

恥は行動の源

三宅隆介市議 教育上、子供に恥をかかせることは必要であると考えられるか？

教育長 親なり指導者が人に対して恥をかかせる行為は行ってはならない行為です。

RYUSUKE'S POINT

まことに議論がかみ合いません。

例えば、徒競走でビリになった子供は「恥」をかきます。その恥が開き直りとなって怒りに変わり、その怒りが子供に行動を起こさせ努力となります。これが進歩のメカニズムです。恥は、子供に行動を起こさせるエネルギーです。この恥を怒り（正しい理性）で使わずに、逃げ（悪い理性）で使った子供に対しては罰という不快感を与える。それが教育者の務めです。みんなで手をつないでゴールイン、という教育は、こうした無能な教育長がやることです。

解説

脳生理学から考えると、人間の精神は、脳幹（下意識）→辺縁系（本能）→新皮質（理性）の順で情報処理されます。

脳幹で行われた情報処理が辺縁系に上げられ非常に細かく情報処理されたものが本能。本能が新皮質に上げられ更に細かく情報処理されたものが理性。理性はソフトウェアであり、人間はこれを自分で作り上げます。生まれながらにして理性があるとする精神論（創造論）は間違いです。



外国人地方参政権の付与を許すな

日本に在住している外国人に対し、地方自治への参政権（選挙権）を付与しようという動きがある。また、この動きを積極的に推進しようとしている自治体もある。私は、外国人への地方参政権の付与を断固として反対する。

推進派の主張は、概ね次の通りである。

- ①外国人も税金を払っているのだから、地方参政権ぐらい与えてもよいのではないか。
- ②韓国では外国人に対し地方参政権を付与している。従って相互主義の観点から、日本も認めるべきである。
- ③EU諸国でも地方参政権を相互に認め合っている。

これに対し、つぎのとおり明確に反論したい。

まず①についてだが、納税の対価は、道路や水道や消防や警察などの行政サービスであって参政権ではない。もし納税を参政権の根拠にするのであれば、納税できない人からは参政権を取り上げなければならないし、納税額の違いで参政権に差をつけようという議論も成り立つ。従って納税と参政権は何ら関係がない。

つぎに②であるが、韓国で地方参政権を与えられている日本人は約50人程度であり、在日韓国人は40万人を超えている。これでは相互主義は成立しない。

③のEU諸国は、宗教的にも文化的にも共通しており経済的にも統合されている。そして政治的にも緩やかな国家連合を目指し、将来的にはEUの大統領まで選出する予定だ。しかもEU域外に対しては外国人参政権を認めていない。その一方、領土問題を抱えている日本・中国・韓国・ロシアの関係はEU諸国のそれとは全く状況が異なる。EUは統合されつつも相互に内政

干渉をひかえるという大人の関係が成立しているが、中韓両国は教科書や靖國神社（戦没者追悼）等、わが国の魂に関わることへの干渉も平然と行う。忘れてならないのは、在日中国人の存在である。在日韓国人が年々減少する一方で在日中国人の増加はめざましい。その上、中国は国家政策として中国人の外国移住を推進している。中国が成立してから、チベットやウイグルなどに対して行った移住政策により、各民族は自分の土地で少数民族化し、政治的にも経済的にも圧迫され滅亡寸前にさせられている。

仮に、日本において外国人地方参政権を認めてしまえば、我が国の国益を大きく損なう。例えば、人口が少ない島根県に何万人単位の在日韓国人が住民登録を行ったとする。そうすれば「竹島は島根県である」と決議した島根県議会において、この決議を無効廃止することも可能だ。あるいは、対馬に何十万単位の在日韓国人が住民登録すればどうなるか。韓国人は既に対馬の土地を盛んに買い占めている。対馬の行政を韓国が牛耳ることも可能となる。また、ロシア人が根室等に集団で移住すれば、北方領土の返還どころか、北海道の一部のロシア化すら起こりかねない。

そもそも、自国に敵意をもつ外国人に参政権を与える国など世界中どこを探しても一つもない。占領憲法（日本国憲法・15条1項）でさえも、参政権は「国民固有の権利」と定めている。外国人地方参政権を認めるのであれば憲法改正をしなければならない。また、参政権（国籍）には自国が戦争になったときに命をかけて闘う義務が伴う。仮に日本と韓国が戦争になったら、在日韓国人たちは日本の為に戦ってくれるのであろうか。もし戦えば、在日韓国人は本国への忠誠義務に反することになってしまう。本国のために戦おうとしない者が居住国のために戦うはずもない。